



みどりの風

平成26年1月8日発行
校報 第504号
〔みどりの風 第47号〕
練馬区立関町北小学校

新年を迎えて

校長 大野 泰弘

あけましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様におかれましては、よき新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、ますますご健勝で、幸多い一年となりますことをお祈り申し上げます。

今日から、子どもたちの元気で明るい笑顔が学校に戻ってきました。今年度も残すところ、3ヶ月ほどになりました。引き続き、子どもたちが夢や感動等をたくさん得ることができ、笑顔や喜びに満ちた毎日となりますように、教職員一同、一所懸命努力してまいります。

さて、年頭にあたり、毎年、「心を開き、夢を育てる」という言葉が学校をお預かりするうでの私の基本的な理念であるとお伝えしてまいりましたが、学校の教育活動を進めていく視点については、その年の見通しをもとに変更を重ねてきました。

平成23年が「Continue」(継続)、「Connect」(接続)、「Create」(創造)の3つのC、平成24年が「Steady」(堅実)、「Support」(支援)、「Satisfaction」(満足)という3つのSの視点でした。3年前の東日本大震災のことを振り返ったり、子どもたちの日々の学校生活の充実を考えたりすれば、そのベースには「安全・安心・安定」が求められますが、本校校長として3年目を終える今年は、これらを踏まえ、次の文字に沿って活動していきたいと考えています。今回は、本校が言語能力向上推進校ですので、英語ではなく、あえて漢字で考えました。

それは、「發」という文字です(旧字体にしてあります)。「大辞泉」によりますと、その意味はたくさんあって、

矢や弾を放つ。 出かける。 外部や世間に向けて出す。 外に現れ出る。 生じる。

物事を始める。 行動を起こす。 事が起こる。 隠れていたものなどを明るみに出す。

外に向かって伸び広がる。 跳ね返す。 とび跳ねる。 醸す。

等でした。この中から、今年は、特に「発表/発信」・「發案/發想」・「發揮/發展」を意識していきたいと思えます。

なぜならば、今年は「東京都教育委員会言語能力向上推進校」としての3年間の活動のまとめとなる「研究発表会」を開催するからです。この研究発表会を通して、これからの時代を生きる子どもたちに確かで、豊かな言葉の力を育むだけでなく、「宝島図書館」を中心として生涯読書に向けての意欲を一層高め、また、外部講師による特別授業を通して、子どもたちの心に将来の職業選択に向けての夢や希望の種まき等をしていきたいと考えています。

そして、もう一つ。今年度は開校55年目となっておりますが、来年度はこれを記念する集会などの行事を行いたいと考えているからです。現在の5・6年生は開校50周年の厳粛で、華やかな式典や集会を経験し、地域と学校の結び付きを実感できていると思いますが、4年生以下の子どもたちは、開校60周年の行事を経験することができません。公立小学校は地域あっての存在ですから、子どもたちには母校に在籍している間に、何らかの形で、自分と地域、学校と地域とのつながりや絆を感じ取ってもらいたい、それが将来自分の生まれ育った故郷に対する愛着心や郷愁となって返ってくると考えています。

この2つの大きな実践に共通することが「発表・発信」であり、よりよいものを創り出そうとする「發案・發想」であり、その結果が、子どもたちの力を「發揮」させることになり、学校・家庭・地域社会相互のつながりを、ますます「發展」させることになると期待されます。

この一年も教育目標の「共に生きる」という精神を大切にしながら、本校に通うすべての子どもたちにとって、よりよい教育実践を積み重ね、魅力・信頼・活力にあふれた関町北小学校にしていきたいと思いますので、皆様の変わらぬご理解、ご支援、ご協力のほどをお願い申し上げます。